

## 事業報告



## 『食育パネル展』

今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、たからづか食育フェアが中止となりました。そこで「食育パネル展」を実施しました。

猛暑が続く中、大勢の方に西公民館まで足を運んでいただきました。

来場いただいた市民のみなさまには、さまざまな視点から食に関する知識を深め、食の大切さを学んでいただきました。

【日 時】 令和4年（2022年）8月2日（火）～ 8月31日（水）

【会 場】 宝塚市立西公民館 3階ギャラリー

【協 力】

- ・甲子園大学
- ・生活協同組合コープこうべ
- ・宝塚いずみ会
- ・宝塚栄養士会
- ・特定非営利活動法人消費者協会宝塚
- ・兵庫六甲農業協同組合（50音順 敬称略）

【関係課】

- ・保育企画課
- ・学校給食課
- ・社会教育課
- ・商工勤労課
- ・農政課
- ・消費生活センター
- ・健康推進課



現在、本市では、第2次たからづか食育推進計画の6つの施策を基本に、取組を推進しています。

今回は、6つの施策のテーマに加えて、SDGsをテーマとした展示を行いました。

◆施策1：家庭における食育の推進

《テーマ》あなたは毎日朝食を食べていますか？



朝食を食べることは、生活リズムを整える、集中力や睡眠の質をアップさせることができる等の説明をしました。

また、簡単に作れる朝食レシピの紹介や、バランスよく食べることの大切さやその方法を5本の指を使い、わかりやすく説明しました。

来場された方々は、朝食を食べなくちゃ！・・・そんな気持ちになられたことと思います。

◆施策2：保育所（園）・学校園における食育の推進

《テーマ》SDGs ～学校給食でできること～



「食材を無駄にしないエコ献立」の紹介です。

だしをとった後の削り節や昆布を刻んで作った、つくだ煮や煮物に活用した献立、2次元コードからアクセスできるレシピを紹介しました。

また、公立保育所（園）・小中学校の給食レシピ（冊子）は、すべて完売（無料）となりました。

たくさんのご家庭で、レシピメニューを味わっていただいたのでしょうか♪

### ◆施策3：地域における食育の推進と食文化の継承

#### 《テーマ》日本食（和食）を見直しましょう！！

日本には、自然への感謝と祈りを込めた様々な行事があり、その季節にちなんだ行事食があります。今回は、四季それぞれの主な行事食を展示しました。節分、七夕の節句、重陽節句、冬至等、1 つでも多くの行事食を食卓で味わい、次世代へつないでくださいね。

※「和食」は、平成 25 年（2013 年）12 月、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。



### ◆施策4：事業者における食育の推進

#### 《テーマ》畑から食卓へ



西谷夢市場の紹介を行いました。

西谷へ行かれたことはありますか？

地元（宝塚）で生産された新鮮な農産物や加工品が並んでいます。

代表的なものは、「宝塚太ねぎ」「黒大豆枝豆」「なす」「北摂栗」「お米」など。

ぜひ、足を運んでみてくださいね。

安全・安心で新鮮な農畜産物を消費者の皆様にお届けするために、農家の方々がご苦労されていることや日々懸命に農業に励んでいらっしゃる農家の皆様の紹介もしました。

地元で生産される新鮮な農産物や加工品について学び、地産地消を心がけましょう。



## ◆施策5：安全・安心な食の推進

《テーマ》食品成分表示

あなたは食品を購入する際、どのようなことに注目していますか？

パッケージや値段等、見る部分はたくさんありますが、容器包装の表示は見ていますか。

今回は、消費期限と賞味期限の違いや食品表示の説明等、わかりやすく説明しました。

表示について知り、日頃から見ることを習慣にしましょう。

※消費期限：傷みやすい食品。この期限を過ぎると食べない方がよいもの。

賞味期限：期限が過ぎててもすぐに食べられなくなるわけではないもの。



## ◆施策6：環境を意識した食生活の推進

《テーマ》食品ロスを見直そう！“もったいない”から考えるe買うプロジェクト



まだ食べられるのに捨てている食品（食品ロス）は、なんと1人当たり1日でお茶碗1杯分もあります。

あなたは、食品ロス削減について、日頃から意識していますか？

「売り場では、手前から食品を取りましょう」、「料理を作りすぎないようにしましょう」等、身近でできる食品ロス削減の方法をいろいろと紹介しました。

必要以上に買い物をして使い切れなかったり、調理しすぎたり、せっかく作った料理を残したりしていませんか？

日常生活の中で、食品ロスがおきていないか、振り返ってみましょう。

◆特別展示：SDGs

《テーマ》 食べることから考えるSDGs



食育に取り組むことはSDGsの目標に大きく貢献することになります。  
今回は、SDGsの目標につながる取組を具体的に紹介し、ご自身の生活を振り返りながら食習慣を見直すことを勧めています。  
みんなで楽しく食べること、朝ごはんを食べること、食べ残しをなくすこと、バランスよく食べること、農林漁業体験、よくかんで食べること等、これらすべてがSDGsの17の目標達成にも貢献します。  
できることから始めてみましょう。ご自身の健康のためにもなります。  
そのほか、エコマークやプラスチック製容器包装等の環境マークのついたパズルの体験コーナーがありました。日ごろ目にしているマークですが、思った以上に難易度が高く楽しめました。

※SDGs：「誰一人取り残さない」をスローガンに、地球に暮らすすべての人が協力して世界の貧困、差別、環境破壊などの問題を解決し、2030年までに持続可能な世界を目指すため、国連が定めた17の目標のこと。